

ゆとりをつくる職場 15→05運動の定着～1日15分×5日×4週＝ひと月－5時間～

「カエル会議」の継続実施と実施内容

- カエル会議（月2回）の実施→業務改善・仕事の効率化への意識が向上
→1日15分早く帰る取組計画と実施により、ひと月5時間削減
- 職員集会の削減（朝週2回→放課後週1回へ）→子供と関わる時間が増加
- 既に実施中の取組
 - ・職員会議のペーパーレス化
 - ・保護者、児童へのWEBアンケート（Microsoft Forms）等のICT活用
 - ・放課後の会議削減（木・金は原則会議なし）

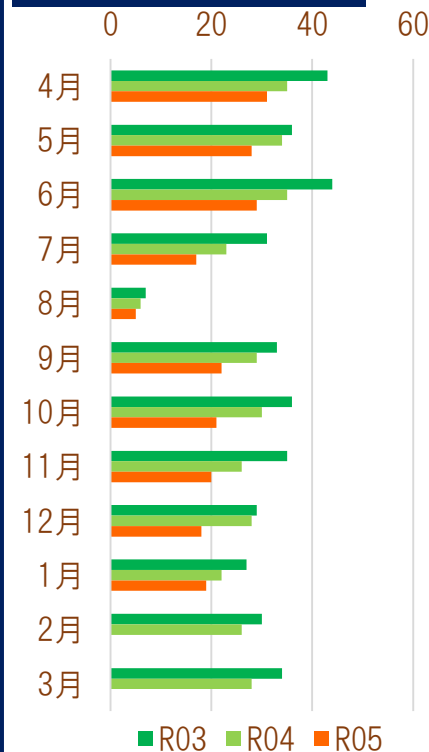
〈カエル会議の様子〉



〈WEBで実施したアンケート〉



平均時間外在校時間



意識の変容と時間外在校等時間の削減

教職員アンケートの主な結果

質問項目	R05.10	R06.1
早く帰ることができていると感じていますか	3.90	4.57
仕事の効率化を図ることができていますか	3.86	4.37
この職場では、働き方改革(業務改善)が進んでいると思いますか	4.14	4.60

(5段階アンケートの平均値<5が最高値、1が最低値>)

成果と課題

- ◎成果…一人あたりの平均時間外在校等時間はひと月あたり26.8時間→21時間に減少した(約22%減(昨年度比))。教職員の業務改善・効率化に対する意識が向上した。
- ▲課題…在校等時間が月45時間超の教職員が偏在する。業務量自体の削減に改善の余地がある。